

平成 27 年度生徒指導集中対策指定校及び生徒指導実践指定校 「特別活動の取組事例」

学校名	府中町立府中緑ヶ丘中学校	校長氏名	坂元 弘	生徒指導主事氏名	河本 春彦
取組事例名 『府中町生徒指導推進事業に於けるクリーンキャンペーン』					
取組のねらい『キーワード ボランティア活動』					
<ul style="list-style-type: none"> ・府中町内の小、中学校及び高等学校、家庭、地域、関係機関及び教職員が一体となった体験活動を行う中で、児童生徒の自尊感情を高め、社会参加の意欲や態度などの豊かな心の育成を図る。 					
取組の具体的内容『キーワード 生徒主体の活動』					
<ul style="list-style-type: none"> ・府中町内全小中学校、安芸府中高等学校、保護者、地域の方、関係機関の方と一緒に町内の清掃活動に取り組む。 ・清掃活動においては、府中中学区と府中緑ヶ丘学区に分かれ町内一斉清掃を実施する。 ・基本的には、部活動単位で呼びかけをし、ボランティア参加を募る。 ・基本的な取組内容をもとに、児童、生徒の執行部（生徒会）を中心に小中連携を実施、児童、生徒会議を持たせて取組を進める。実際に清掃活動の場所の決定、確認や地図の作成と説明、準備するものなどを児童、生徒の会議を通して進めていく。 					
取組の課題・創意工夫『キーワード 共感的な人間関係』					
<ul style="list-style-type: none"> ・この取組は町内一斉清掃におけるボランティア活動であるが、今後児童、生徒が主催する異年齢交流活動などの取組を通して、上級生が下級生のことを思いやり、下級生が上級生を尊重しながら行事や活動などを性別や学年などの違いを超えて、互いに協力できるような取組を工夫していく。 					
取組の成果（効果）『キーワード 小中連携』					
<ul style="list-style-type: none"> ・府中町生徒指導推進事業の活動計画において、ボランティア活動（町内一斉清掃）を児童、生徒を中心に組みこむことで、児童生徒の自尊感情を高めることができた。また地域を巻き込むことで地域との関わりを持つきっかけもでき、いろいろな意味で府中町内の学校を町ぐるみで捉えてもらえる事になったと思える。 					
今後の展開『キーワード 生徒指導三機能を生かした取組』					
<ul style="list-style-type: none"> ・今後の特別活動での取組において、一人一人の自発的な思いや願いを大切にすることや互いの協力や助け合い互いの良さを認め合うこと、また、自己の生活改善や進路などに関し、自己実現の喜びを味わわせるなど「自己存在感」や「共感的人間関係」、「自己決定」を本質においた取組にしていく。 					
他校へのアドバイス『キーワード 児童・生徒の実態の把握』					
<ul style="list-style-type: none"> ・日頃の児童、生徒の実態をあらためて把握することにより、生徒指導の三機能を生かした取組を特別活動にどう生かして行くかを校内で検討し、児童、生徒の自発的な活動をどう仕組ませるのが重要なポイントになると思われる。学校の行事等が児童、生徒の主体的なものになるよう取組を実践していくことが大切である。 					